

令和4年度 学校関係者評価実施報告書

学校番号	68	学校名	静岡県立磐田西高等学校	記載者	山崎 裕子
------	----	-----	-------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	基本的な生活習慣を確立するとともに、社会で通用する規範意識の育成に努める。	「『あせふこ』を意識して生活している」 90%以上※1	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍であり仕方がないと思います。 ・高校生は全体的に良いように思います。 ・環境が大切です。自分たちで清潔な学校をつくっていけるとよいと思います。 ・学校参観であいさつがよかった。 ・公立高校の最大の強味は「教員の質の高さ」です。これは、研修の機会が保障されていることや、転勤で豊かな経験を積めることなどが要因かと思います。 これを基盤として「あせふこ」を意識させる地道な取組によって、学校として総合的な教育力の高さを感じます。 学校教育活動診断に良く表れています。
		登校指導等の際に、個々の生徒に注意を促す。	B	B	
		「遅刻をしないで「8:25 朝読書開始を守っている」 80%以上※2	A	A	
		清掃点検 年30回 部活動一斉清掃 年5回	B	B	
イ	学習習慣の形成を促す。また、基礎学力の定着を目指し、授業の改善に努める。	公開授業年2回実施 授業参観年3回以上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・小中の授業がグループで話し合ったりする機会が多いので座学がかりでなく改善も必要かと思います。 ・2時間の中身が大切だと思います。自分にとってプラスになる取組にしてほしいです。 ・主体性、協働、連携をキーワードとして、普商併置の高校として育成すべき資質能力を問い直してみる必要があると思います。 そして、それらを明確にした上で授業改善に取り組みれば、更に素晴らしい学校になると感じます。 ・「自学自習」は学習だけでなく、特定のスキルや技術を身に付ける際にも、最も必要とされる能力です。 「自己教育力」を培う取組を創意工夫、試行錯誤しながら力強く実
		「授業は分かりやすい」と答える生徒 70%以上 ※7	A	A	
		測定ツールやアンケートを活用した教員 70%以上	B	B	
		「2時間以上自学自習している」 40%以上 ※10 ※11	B	B	

					行することを期待します。
ウ	学科の特色を生かし、生徒の多様な学習ニーズや進路希望に対応する。	「活動を通して学力が身についた」 70%以上 ※11	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を毎日とることが大切だと思います。 ・商業教育(専門教育)は、その存在意義を明確にして地域等に訴えていくことが常に求められます。まずは、普商併置の高校としての存在意義を教職員で共有することが重要だと考えます。 ・主体性、協働、連携をキーワードとして、指導計画を常に点検することが大切だと思います。 ・生き方に悩んだりした時などに読書を勧める。 大学受験などの際に、書籍を読ませて考えさせる。 などなど、機会をとらえて読書を勧める、読書させることを地道に続けていけばいいと思います。 人生に一度くらいは「本を読まずにはいられない」時が来たらいいな、と思います。 ・合格状況を見ると素晴らしいと思います。 しかし、(あくまで、個人的な考えですが)上位層を伸ばすことができる環境づくりが最も大切かな、と考えます。
		「総合探究は進路意識の向上に役立っている。」70%以上 ※13	A	A	
		生徒一人当たりの年間読書 7冊以上※25	B	B	
		1年生で全商簿記2級、情報処理合格者 90%以上	B	B	
エ	人権を尊重し、他を思いやる姿勢を土台に、人間関係形成能力を身に付ける。	意識が向上した生徒 75%以上、教員 95%以上 ※20	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に担任が生徒と面談する機会をもてば良いと思います。(進路の面談とは別に) ・日頃の授業で、「学習指導、生徒指導、進路指導が有機的に結びつき」ながら展開されるといいな、と感じます。
		「職員は生徒の体や心の健康に気を配っている」 70%以上 ※22	B	B	
オ	地域・社会に視野を広げ、自らの夢を描き、努力を重ねる姿勢を育む。	「地域ボランティア等に年1回以上参加した」 40%以上 ※17	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の授業に外部人材を登用するようになるとさらに良いと思います。 ・台風15号被災者支援ボランティアは素晴らしい。 ・地域から存在意義が認められない学校は、少子化が進む状況の中では「整理統合こそ社会貢献」です。 そのためにも、この項目はとても重要です。より一層の充実を期待します。
		外部人材を活用した事業が行われている。	A	A	
		「社会貢献活動への参加」 60%以上 ※17	A	A	

様式第5号

					また、上述しましたが、主体性、協働、連携をキーワードとして、指導計画を常に点検することが大切だと思います。 ・学校評議員会の場合でも言いましたが、災害ボランティアに主体的に参加した生徒は立派です。大いに讃えてあげてください。
カ	保護者や地域社会から理解される学校を目指して、積極的な情報発信を行う。	週1回のホームページの更新	B	B	ホームページの更新は負担が多いと思います。ブログ型で行事・授業をのせるにすればよいと思います。
		目的がはっきりとした印刷物が配布されている。	A	A	
キ	生徒・教職員の生命・安全を守る教育を推進する。	「災害時に対応できると思う」 75%以上※18	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・マナー良いと思います。 ・一部の人からの苦情で判断しない方がよい。 ・熱中症講習は良いと思う。 ・「あせふこ」及び地域社会との関わりを強く意識づける必要があります。 高校生が地域社会から期待されているものは何でしょうか？ ・まさに「あせふこ」です。「あせふこ」への理解を少し深めていけばいいと考えます。 ・特別な講座ではなく、日頃の授業と連携しながら展開されるようになるといいな、と感じます。
		地域防災訓練参加者 70%以上	A	A	
		月例点検・管理職点検が行われている。	A	A	
		「交通ルールを遵守している」 90%以上※20	B	B	
		「健康に関する講座を通して意識が向上した」 80%以上※22	A	A	
ク	質の向上や効率化を目指した業務改善を積極的に行う。	話し合う機会の設定 年2回以上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・中学からするとちょっとびっくり。職員が大変そうです。 ・9時は遅すぎる。早朝残業はどうでしょうか。 ・「物理的・精神的なゆとりの中で教職員の協力体制をつくる」ことが最も重要だと思います。 教員はゆとりの中では良い仕事をする習性が身に付いています。働き方改革も重要ですが、ゆとりを生み出すことは、もっと大切です。
		「部活動に積極的に取り組んでいる」※15 90%以上	A	A	
		生徒下校時刻を守らせるとともに遅くも9時前の退庁を徹底する	B	B	